

ZEITZ



ツァイツ市庁舎



ツァイツ市の概要

- 人口 約32,000人
- 国際空港 ライプチッヒーハレ 50 km
- 高速道路 A4 (アイゼナハードレスデン) 18 km
A9 (ベルリンーミュンヘン) 20 km



ザクセン - アンハルト州の中のツァイツ市

ツァイツ市はドイツ16州の1つザクセン - アンハルト州の南端にあります。

州としての歴史は浅く、東西ドイツが統一された1990年10月3日に、ドイツ連邦共和国の中の1州になりました。

ザクセン・アンハルト州は、ヨーロッパの中心に位置しており、東西ドイツ統一後、外国資本が最も投入された地域です。その要因として、地理的好条件と最新のインフラ、良質な労働力、迅速な認可手続など経済活動のための環境条件が良いことがあげられます。

- ▶ 州都：マクデブルク
- ▶ 4つの連邦州の境界にツァイツ市がある



歴史

- 967年 文献の中に、ツァイツが Cici の名前で初めて記録されている。
- 19世紀半ば 工業化が始まり、石炭鉱業により活気のある街になった。
- 1900年代前半 工業都市化し、化学製品と同様にピアノ、乳母車、褐炭処理機械が世界中に輸出された。



- 1936年 フッペルのピアノ製造工場が、ピアノ製造を停止した。 戦後工場は閉鎖された。
- 1949～1990年 ドイツ民主共和国（東ドイツ）に属し、計画生産のもと多くの工業が盛んであった。
- 1990年～ 統一後、西側資本の流入により多くの工場が閉鎖され、高い失業率を示す。工場団地の整備などに力を注ぎ、経済の再生に力を注いでいる。
- 2000年 鳥栖市との交流を始める。

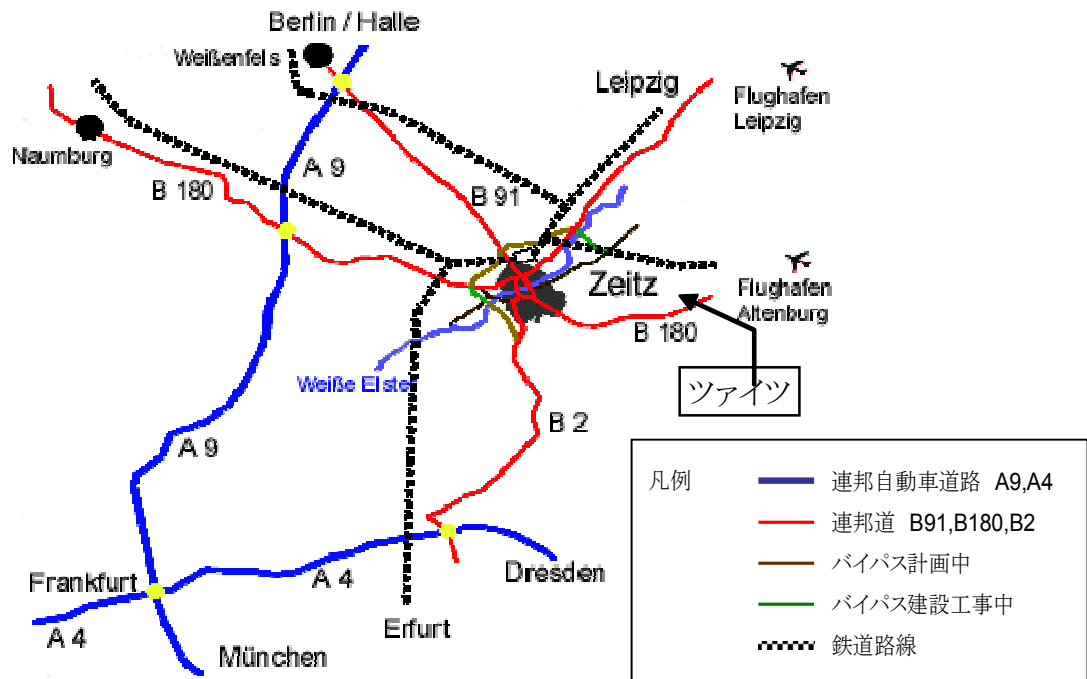
ドイツの歴史概略

- 1939年9月1日 第2次世界大戦勃発
- 1945年4月30日 ヒトラー自殺、5月8日、9日に無条件降伏、終戦。
- 1949年5月23日 ボン基本法公布、発効(西ドイツ)
- 1949年10月7日 ドイツ民主共和国(東ドイツ)創立
- 1952年 ドイツ民主共和国(東ドイツ) 国境閉鎖
- 1961年8月13日 国境完全閉鎖(ベルリンの壁)
- 1989年11月9日 ベルリン国境検問所の開放(ベルリンの壁の崩壊)
- 1990年10月3日 東部5州が連邦共和国に加入(東西ドイツの統一)

市の概要

交通の要所

ツァイツ市は、2つのアウトバーン（高速道路）A9、A4に面しており、市内でB2、B91、B180の3本の国道が交差しています。鉄道は、ライプチヒ - ゲラ線が通っており、交通の便がよい街です。



重要なドイツの都市には数時間以内で着くことができます。

- ツァイツーミュンヘン 3時間36分
- ツァイツーベルリン 2時間16分
- ツァイツーライプツィヒ 1時間
- ツァイツーハンブルク 3時間57分
- ツァイツーフランクフルト 3時間16分



➤ 教育

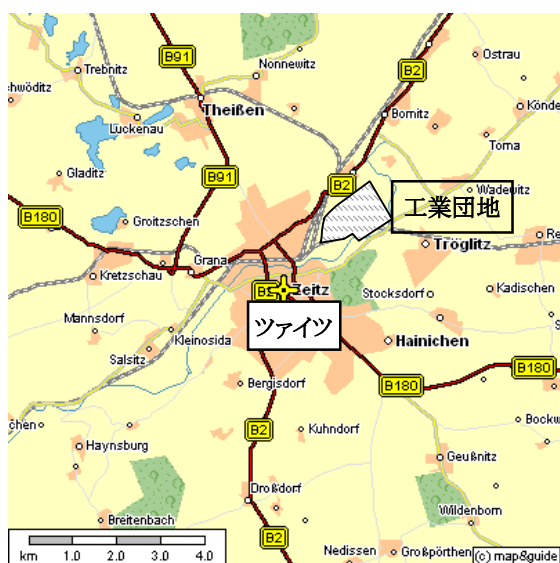
幼稚園 1 園、小学校 6 校、中学校 4 校、高等学校 4 校、職業学校 1 校があります。

バッハの第 2 夫人の名にちなんで名づけられたアンナ・マグダレーナ音楽学校があり、数多くの音楽家を輩出しています。



➤ 主な工業

化学工業が最も盛んで、機械工業、環境工学、採炭工業、サービス業があり、郊外に工業団地を有しています。



➤ 近くの大きな都市

ライプチヒ (42 km)、ハレ (48 km)、ゲラ (20 km) があります。

➤ 空港

ハレ - ライプチヒ空港まで 50 km です。

観 光

➤ 地下通路

街の旧市街地の地下に貯蔵庫を兼ねた地下通路があります。14世紀から18世紀の間、空洞と9km近くあるトンネルにビール、ワイン、食料が貯蔵されていました。現在は観光名所として多くの人が訪れています。



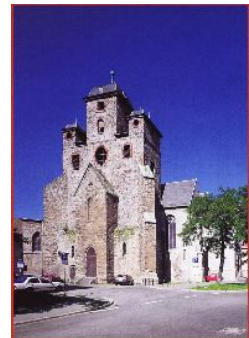
➤ 宗教改革ゆかりの地

マルチン・ルターやその子孫と関係の深いフランシスコ修道院、ミハエリス教会、聖ペテロとパウル大聖堂があります。記録では、ルターは3度ツァイツを訪れており、また、18世紀の一時期には、子孫がツァイツ市長を務めていました。

聖ペテロとパウル大聖堂は、10世紀後半に司教の居城として建てられました。現存する建物では、大聖堂の地下聖堂が最も古く10世紀後半のもので、フランシスコ修道院は13世紀のもので、

➤ ミハエリス教会

1154年の文献に記述がある有名な文化的歴史的建物です。1517年のマルチン・ルターが掲示した95か条の論題の原文の1つがこの教会で見つかりました。



➤ モーリツブルグ城

モーリツブルグ城は、17世紀に建てられたバロック様式の建物です。この中にツァイツ市博物館があり、乳母車資料館や1896年に製造されたグランドピアノが展示されています。また、城の周辺の公園を整備して開催された「庭園博覧会ツァイツ2004」後も市民の憩いの場として開放されています。



庭園博覧会ツアイツ2004

ザクセン - アンハルト州では初めての庭園博覧会です。テーマは「11世紀からの公園」です。期間中50万人の来訪者が見込まれています。

メイン会場は、モーリツブルグ城一帯。1000年以上に及ぶツアイツ市の歴史をたどる各種展示の中で、ドイツの庭園技術や庭・公園緑地などがどのように発展したのかを再現しています。

イベント開催による地域の活性化や会場周辺整備のための土木工事、文化財の修復などにより停滞する経済への起爆剤的な役割を果たすことも期待されています。

- 期間 2004年4月24日～10月24日
- 主催 ザクセン・アンハルト州
- 実施主体 庭園博覧会ツアイツ2004 有限会社 (Landesgartenschau Zeitz 2004 GmbH)
- 会場 モーリツブルグ城周辺

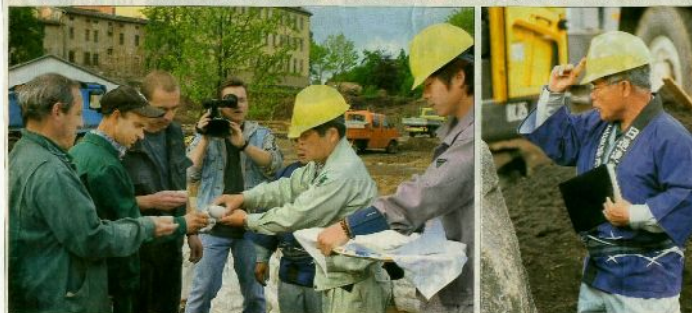
日本庭園

大宰府の光明禅寺をモデルとした枯山水。面積は約1,200㎡でテーマは「心」。

ツアイツ市との交流を始めたばかりの本市に、造園の技術協力依頼があり、本市は国際協力の立場で技術者を派遣。2003年5月から6月中旬までの1ヵ月半、鳥栖市緑化協会から4人の造園技術指導によって完成させる。

ドイツでは、日本庭園に対する関心が高く、数ある日本庭園の中でも、日本人の手による本物の「日本庭園」として、ドイツ新聞各社が大々的に報道するなど注目度は非常に高く、連日お客さんで賑わっています。

Weihe und Baustart für japanischen Garten zur Landesgartenschau in Zeitz



Für ein gutes Gelingen ihres Vorhabens helfen die japanischen Gartenmeister Rothschäfer und Fischer mit ihren deutschen und englischen Kollegen, bevor sie sich an das Setzen der Findlinge machen. Erster auf der Baustelle war Gartenmeister Tadaaki Tokioka. Gestern legten ihm besonders die Steine am Herzen.

計画の大成功為に日本の庭師は捨て石を置きにかかるとドイツとイギリスの両国とお湯とお魚を分け合いました。

共同写真家

現場には高級記念庭師が着きました。昨日彼によって石は敷き詰められています。



➤ 日本の週

2004年7月12日～18日の1週間、伝統的な日本文化・芸術を紹介する「日本の週」が開催されました。ツァイツ市の依頼により、本市は、日舞や華道、書道、茶道の公演・実技指導・展示等を行いました。

舞台での公演、展示室での展示や実技指導、日本庭園内での野点披露などによるトータル的な日本伝統文化・芸術の紹介・交流は、ドイツの人々の日本文化・芸術に対する興味や理解を高め、鳥栖ひいては日本のイメージを国際レベルで高めることができるものと期待されます。



ツァイツ市の町並み



アンナ・マグダレーナ・バッハ音楽学校



ツァイツ市役所前交差点



ツァイツ市庁舎



ツァイツ市庁舎裏庭



老人ホーム敷地



街中にある彫刻



市街地裏通り



ゴミ分別ボックス



学校前通り



1000年前の城壁通り



ツァイツ 3 番目の広場



中心商店街通り



バロック祭り会場入口



裏通りとダストボックス



ライトアップされた市庁舎